膠原病の医療と患者の生活を考える
医療講演会と公開討論会

全国膠原病フォーラムin大阪

定員２００名（入場無料）

平成30年4月21日（土）9:50~16:00

大阪リバーサイドホテル　大ホール（６階）

〒534-0027 大阪府大阪市都島区中野町５丁目１２-３０
ＪＲ大阪環状線「桜ノ宮駅」西口より徒歩３分 / 東口より徒歩４分（東口はエレベーターあり）

◆主催者挨拶　　９：５０～１０：００

◆医療講演会　１０：００～１２：００

「最近の膠原病治療の動向」
三森 経世 先生　京都大学大学院 医学研究科 内科学講座 臨床免疫学 教授

「日常生活における注意点 - ステロイド・免疫抑制薬の副作用を含め -」
藤井 隆夫 先生　和歌山県立医科大学 リウマチ・膠原病科学講座 教授

◆パネルディスカッション（公開討論会）　１３：００～１６：００

「私たちで考える膠原病患者のこれからの生活
～難病法の見直しに向けて～」

コーディネーター：森 幸子（一社）全国膠原病友の会 代表理事
パ ネ リ ス ト ：（一社）全国膠原病友の会 理事

◆主催・参加申し込み

一般社団法人
全国膠原病友の会
〒102-0071　東京都千代田区富士見２丁目４-９-２０３
TEL.03-3288-0721（平日 10:00 ～ 16:00）FAX.03-3288-0722
ホームページ：http://www.kougen.org/　膠原病友の会　検索

◆ホームページからも参加申し込みができます

〔後援〕厚生労働省 ／ 一般社団法人 日本リウマチ学会 ／ 公益財団法人 日本リウマチ財団

全国膠原病フォーラム in 大阪〔膠原病の医療と患者の生活を考える医療講演会と公開討論会〕

膠原病を持ちながら生きる患者にとって“医療”と“生活”は両輪です。『難病法（難病の患者に対する医療等に関する法律）』の基本理念は、「難病の克服」と「社会参加の機会の確保」および「地域での共生社会の実現」であり、私たちは医療と生活の両面において、将来に希望を持って生きられるように総合的難病対策が充実することを期待しています。

『全国膠原病フォーラムin大阪』の午前中は「最近の膠原病治療の動向」と「日常生活における注意点」をテーマに“最新の医療”と“患者の生活”についてご講演いただき、午後からは「難病法施行後５年の見直し」に向けて、関西ブロックのアンケート調査での意見を参考にしながら、（一社）全国膠原病友の会の理事を中心に「私たちで考える膠原病患者のこれからの生活」をテーマに、難病法および関連する制度などを今後どのように見直していくべきかについて公開討論したいと思います。

これからの膠原病患者の皆さまの生活を考えるうえでも参考になると思います。どなたでも参加いただけますので、ぜひ多くの方々のご来場をお待ちしております。

大阪リバーサイドホテルへのアクセス
（大阪市都島区中野町５丁目１２－３０）

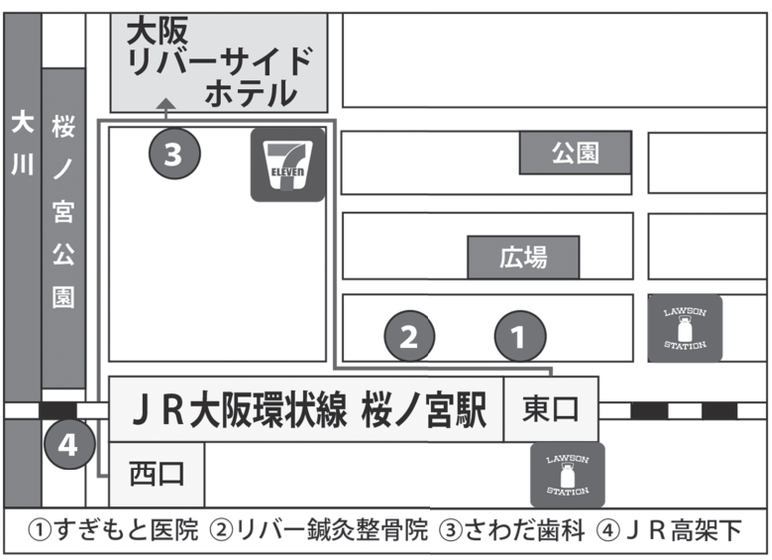
◎ＪＲ大阪環状線「桜ノ宮駅」下車

〔東口より徒歩４分（エレベーターあり）〕

- 【東口】改札口を出て【左】へ、①すぎもと医院が見えます。線路沿いに②リバー鍼灸整骨院を通過して【右】へ曲がる。セブンイレブンを【左】に曲がると「大阪リバーサイドホテル」です。

〔西口より徒歩３分（階段のみです）〕

- 【西口】を出て【右】へ、④ＪＲ高架下を潜り抜けて 100 メートル程直進すると、右側に「大阪リバーサイドホテル」があります。



◎「全国膠原病フォーラム」へ参加を希望される方は、郵送・電話・ＦＡＸ・ホームページ等により、お申し込みください（会員以外の方も参加可能です）。《先着順：定員の２００人になれば締切ります》

※会場は飲食可能ですので、昼食はご持参ください。ホテル前にコンビニもあります。

住所：〒 102-0071 東京都千代田区富士見 2-4-9-203 （一社）全国膠原病友の会事務局あて
（下記の必要事項を記入のうえ、点線部で切り取って郵送ください）

電 話 ：03-3288-0721（平日 10:00 ～ 16:00 の時間帯でお願いいたします）

FAX：03-3288-0722（下記の必要事項を記入のうえ、切り取らずに送信ください）

ホームページ（http://www.kougen.org/）からも申し込み可能です

◎氏名（代表者）＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿ 〔□会員 □非会員〕（□にチェック下さい）

※複数名でご参加の方は代表者名を記入ください。

◎住所 （〒 ）＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

◎電話番号＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿ ◎参加人数＿＿＿＿＿＿人

◎備考（「車椅子での参加」などありましたら記入ください）

（ ）

※全国膠原病友の会からの連絡のため以外の用途には使用いたしません